

居住支援協議会の構成団体から出たコロナの影響についてのご意見

令和3年2月10日付けで書面開催された、令和2年度新宿区居住支援協議会において、構成団体に賃貸住宅市場への新型コロナウイルス感染症の影響とその対応について、伺ったところ、以下のご意見が寄せられました。

●意見要旨

・コロナ禍の影響で、去年は賃貸借契約の解約、家賃の延滞などが増えた。現在は小康状態。
・全体的に単身者用賃貸物件の需要が落ちている模様
・賃貸管理を行う会員各企業の対応では、「家賃減額交渉」や「助成金申請の手続きの協力」などのボランティア的業務が多かった。〈不動産関係団体〉

コロナ禍の中で転居、移転等控える動きが出ています。
空室に対する問い合わせ等の数字が減少しており、長期化する事が懸念されます。
〈不動産関係団体〉

新宿区を含めた都心部の賃貸住宅（ワンルーム）に空室が出てきています。コロナで在宅勤務が増加したことにより郊外の広い部屋へ引っ越そうとの動きも原因の一つとなっています。
空室が続くことで、要配慮者への空室提供が進む可能性があるかもしれません。
〈不動産関係団体〉

居住者と配布物、アンケートの回答等で連絡を定期的にとれるとよいと思う。
〈居住支援団体〉

新型コロナウイルス感染拡大により、主介護者が離職、収入源となり、在宅介護サービスが十分に受けられない事例があります。安定した収入がない状況と介護負担の増大から、高齢者虐待に繋がるリスクも想定されます。
介護支援専門員は世帯状況をアセスメントして、早期に必要な資源につなぐよう努めています。〈居住支援団体〉

質問です。①新宿区は感染者が多いため給付金など申請件数が多いですが、現段階でのトータル金額はいか程になっておりますか？
② (5)で承認された方とされなかった方の基準はどのようなことだったのでしょうか。
コロナの現状と影響
デイサービス：2～3つの事業所を併用されている方が陽性だったりご家族が陽性であるなど増えている。
訪問系サービス：訪問介護・入浴・看護でスタッフの陽性・利用者、ご家族の陽性あり
施設系：クラスター発生した所あり
新宿区は対応が良くPCR検査も早くに無料で行ってくれたり、消毒も全額補助金で実施できたと報告を受けております。店舗縮小・閉店も聞かれています。賃貸住宅の家賃助成もあり助かっていると介護保険を利用されている方は今のところ身近な所で困っているケースはまだ出ておりません。〈居住支援団体〉

高齢者総合相談センターに寄せられる相談の範囲では、住宅に関する相談においてコロナ感染症の影響は見られません。〈居住支援団体〉

令和2年中は賃貸物件の動きが鈍かったが、令和3年になってようやく動き出した感があります。賃貸物件の値段は、あまり依然と変わらないように思います。〈居住支援団体〉

新型コロナウイルス感染症の影響で会社倒産、収入減になった方からの入居相談は数件程度。相談件数全体についても大幅に増えていない。(月20～30件)〈居住支援団体〉